資料3

地域の明るい未来フォーラム　in　東南村山

かみのやま

地域の明るい未来に向けた上山市の取組みについて

令和8年11月19日(木)

上山市長　山本（やまもと）　幸靖（ゆきやす）

上山市の将来ビジョン

【第8次上山市振興計画（令和6年度～13年度） の将来都市像】

「つながりつなげる　いろどりのまち　かみのやま」











上山市を彩る「豊かな地域資源」 ～「当たり前」を「まちの魅力」へ～



かみのやま温泉
歴史ある湯の街の情緒



旬の果物
ぶどう・ラフランス・柿



美しい自然
蔵王の麓に広がる景観



かみのやまワイン
気候風土が育む高品質



歴史・伝統文化
城下町の風情と伝統行事

💡 そして**最大の地域資源**は、この魅力に気づき・活かし・つなげていく「**人々**」です

これまで

「見過ごされていた日常」

見慣れた風景や暮らしの中にある
「当たり前」の出来事

大切な気づき

「まちの価値・魅力」

一人ひとりが誇りを持てる
「かけがえのない価値」へと昇華

💡 将来にわたり住んで楽しいまちにするには、この魅力を「**発展**」させ「**継承**」することが不可欠です

「自分ゴト」から広がる価値創造プロセス

STEP 01
自分ゴト化
主体的にまちづくりに関わる人を増やす

STEP 02
つながりの輪
共感が広がり、人と人の輪が生まれる

STEP 03
新たな価値創出
人×魅力の化学反応で唯一無二の価値へ

STEP 04
次なる彩りへ
生まれた価値が将来のまちの魅力に繋がる

価値がつながる「持続可能な循環モデル」

オンリーワンの価値創造

人と地域資源が組み合わさることで、他の地域にはない独自の魅力が誕生します。

未来への継承と「彩り」

創出された新しい価値は、次の世代に引き継がれ、上山市の新たな魅力の「彩り」となります。

住んで楽しいまちを、
みんなの「自分ゴト」で未来へ

一人ひとりの気づきと行動が、上山市の明日を彩ります

【教育】

① グローバル人材の育成



◆現在の取組

英語スピーチ機会の創出、英検受験補助、対策講座の実施

◆主な成果

英検準1、2、準2級の受検者　5人（R6）→ 12人（R7）

② 英語に触れる、親しむ機会の増加



◆現在の取組

ALTを中学校数より多く配置（4人）、
小学校やイベント等にも派遣、子どもたちと英語で交流

保育園（市立2園、民間立3園）に外国人講師を派遣

【教育】

③ 「学びの多様化学校」の運営



「自分らしく、自分のために学びや活動を創造できる新たなスタイルの学校」



◆特別の教育課程

✓年間総授業時間数を削減
✓登校時間は9:20(下校は15:00)
✓授業中でも自分の判断でクールダウンできる環境を準備

◆人との関わり・体験活動を重視

地域とのふれあいを重視した交流活動などによりコミュニケーションスキルを向上

◆目標設定と評価方法を工夫

一人ひとりに応じた目標設定　達成したことを認め、評価することで自己肯定感を向上

R8.4月～9月の児童生徒の出席率　**93.5%**

【健康】

① 健康ポイント事業を柱とした健康づくりの強化

第14回「健康寿命をのばそう！アワード」
スポーツ庁長官賞受賞！

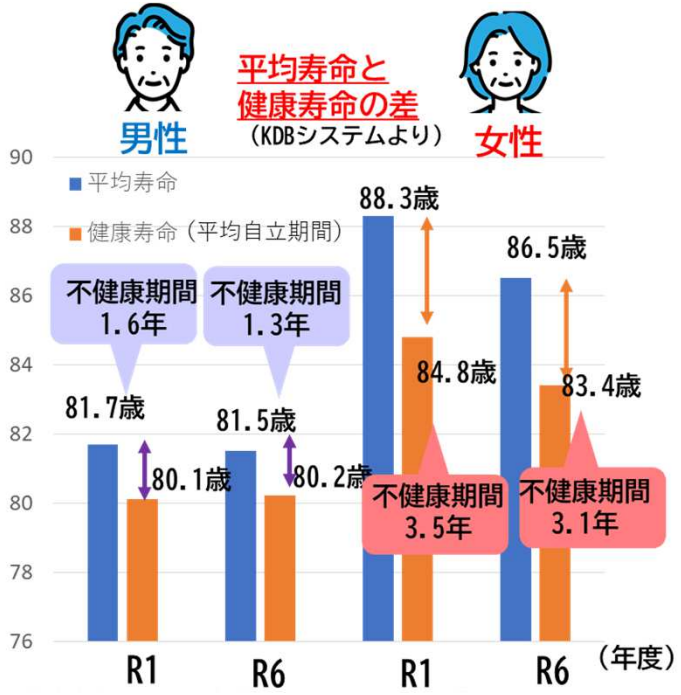
◆現在の取組

目標歩数達成などによるポイント付与、「健康マイスター」の養成・育成

◆主な成果

健康だと思う人　R5：48.8%　**R7：62.7%**

不健康寿命　**男性▲0.3年　女性▲0.4年**



② 疾病・重症化予防とがん対策の推進

◆現在の取組

40～69歳の胃がん検診時のリスク検査の全額助成

【まちづくり】

① 官民が連携する「かみのやま温泉駅周辺整備」

居住・子育てゾーン
駅東エリア

若者や子育て世代をターゲットとした良好な住環境および居住エリアの創出

住みたい・暮らしたいと思える居住の場として再生

連携 ・ 相乗効果

商業・歴史観光ゾーン
駅西エリア

既成市街地、温泉旅館、観光資源を活かし、駅から上山城周辺まで快適に周遊できる回遊ルートを形成

空き店舗利活用による「歩いて楽しいまち」再生

東西エリアを明確に差別化・連携させることで、駅東西の役割、魅力を最大限に発揮

移住・定住人口と出生数の増加、関係人口・交流人口の拡大、
地域内経済の好循環を生み出し、官民連携による効果の最大化を実現する



「公園住宅イッテ」

公園　緑道

分譲住宅

子育て賃貸住宅

交流施設のイメージ



駅西エリア「歩いて楽しいまち」



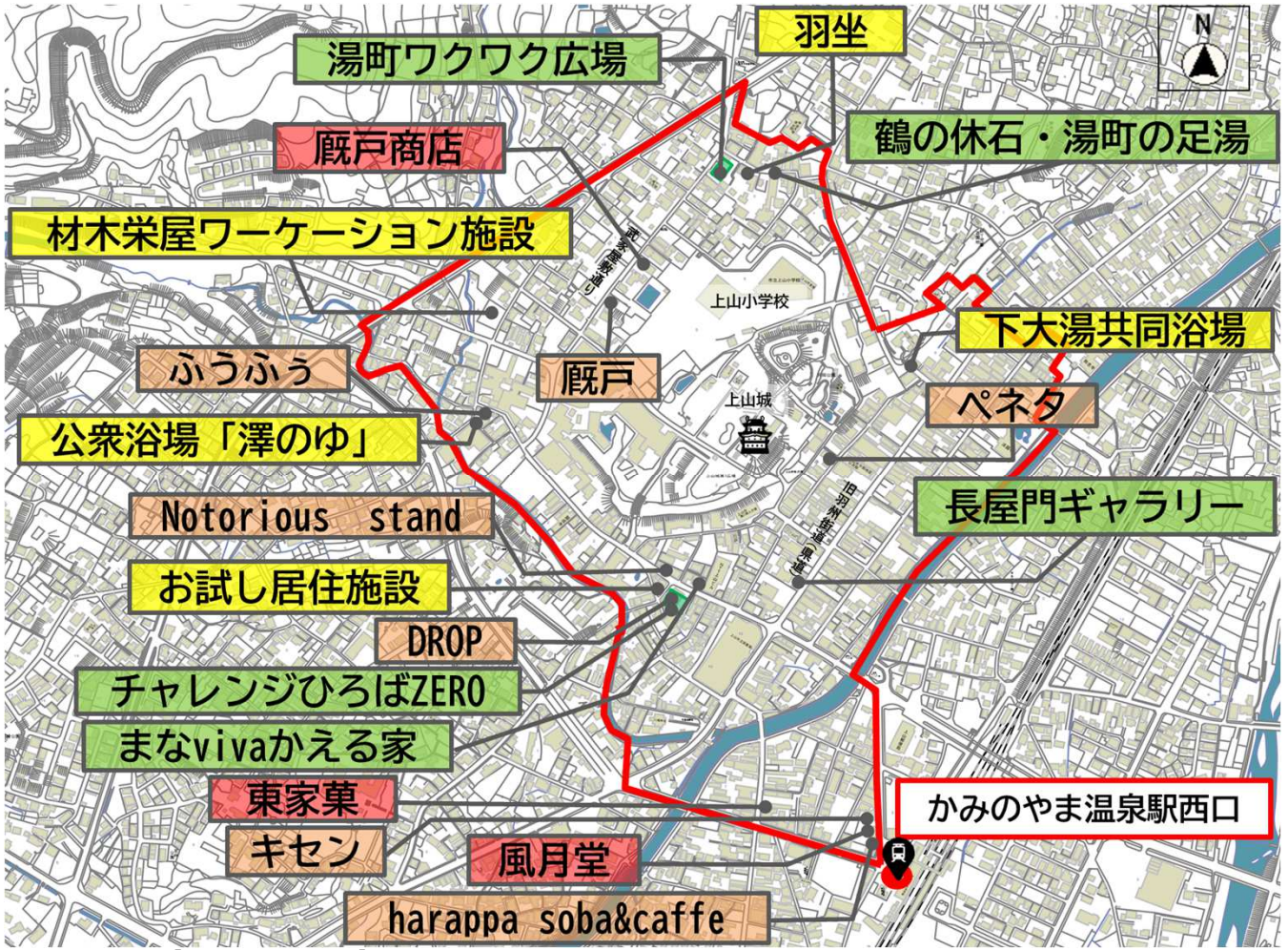
R６ 厩戸商店
（自然食品）



R６ お好み焼き家
ふうふぅ



R６ Notorious stand
（コーヒーと日本酒）





R７　風月堂
（チャレンジキッチン、
常設カフェ、物販）



R７　キセン
（白河ラーメン）

【まちづくり】

＜FM山形　第1・3木曜 11:30～＞

② 「おらだの街はいい街だず」と言えるシビックプライドの醸成

◆ラジオ番組を活用した取組

市内のイベント（携わる人の思い）や日常の話題を発信



大人が上山を誇りに思い、自信を持って発信する！

⬇

そんな大人を見て育った子どもたちに、地元愛が伝わる！

⬇

地域に関わりたい人々が増え、集まり、つながっていく！ワクワクが生まれる！

③ ふるさと納税などを通じた関係人口の拡大

「かみのやま縁会（ゆかりかい）」による、ダイレクトな交流と魅力発信

かみのやまファンクラブ
会員数 **5，000人！**



◆これからの方向

NHK朝ドラを契機とした関係人口のさらなる創出

【まちづくり】

④ 地場産業の成長につなげる地域の未来戦略



5社の企業誘致を実現、県の主要ものづくり産業が集積

「強い経済」、「豊かな生活環境」、
「選ばれる地方」の基盤を固めるため

➡ 若者が求める「魅力的な働く場所」を
企業誘致×地元企業で創出

⑤ 「かみのやま温泉」の持続的発展





老朽化した温泉配湯管の更新、脱炭素化の推進、入湯税の一部を基金化

観光物産協会（地域DMO）と連携した稼げる観光地域づくり

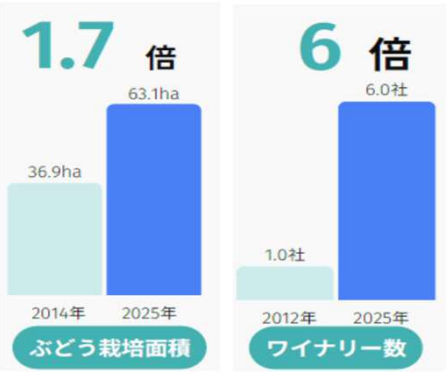
インバウンド宿泊者数　25,483人（R6）↗ **30,336人（R7）**↗

⑥ 高品質な果樹産地づくりの推進

気候変動に対応するため生産施設整備、機械導入、
苗木養成を支援

ワインの郷プロジェクトによる
生産・醸造・販売・観光の好循環サイクルの創出





今後の展望

現在の取組み
→　20～30年後の上山市の姿を見据えて

20～30年後のまちの魅力となる
「新たなワクワク」が次々生まれ始めている

好きな事・得意な事を活かして、まちづくりに
参加する人をもっと増やしていく

子どもたちが将来、自分たちが住みたいまちを
目指していける可能性にあふれるまちへ









「やりましょう！」
わたしたちにもできること
上山市の一員だから



「かみのやま子ども宣言」より

